

今日も地域で頑張っています！！



～いつも各地の大会会場で頑張って審判をしている方々を紹介します～
 2019年5月4日(土・祝)JFA第7回全国0-40サッカー大会関東予選
 ～千葉県総合スポーツセンター・サッカーラグビー場～



千葉県内では様々な大会が開催されていますが、そこで日頃から活躍している審判の方々にスポットを当てて取材しました。今回は全国0-40サッカー大会関東予選において、県の派遣審判員として頑張っている皆さまにインタビューをしました。

- ①:氏名(敬称略) ②:審判歴 ③:審判になったきっかけは?
 ④:審判活動で印象に残っていること ⑤:これだから審判は辞められない審判の魅力とは?



- ① : 市ノ瀬 勝治(いちのせ かつはる)
 ② : 1999年からですので、20年になります。
 ③ : 息子のチーム帯同をお願いされて取得しました。
 ④ : 4級を取得し衝撃を受けた試合がありました。4種自チームの試合後、帯同として審判打ち合わせに行ったところ、上級の方が水色のワッペンを付けドヤ顔でいらしゃったので主審をお願いしたところ、ファウルは取れない選手は怪我をするアシスタントは見てくれないベンチは大騒ぎなど、同じクルーとして選手に大変申し訳なく、やるせない試合となりました。その試合後やはり審判は4人で助け合いプレイヤーズファーストを忘れず上級だからとワンマン審判は絶対にダメだと思いました。
 ⑤ : 指導者をやっていた時の子供達が高校、大学、社会人となり同じフィールドでサッカーに携われ、試合後など話しに来てくれたときなど、普通に外から観戦しているのとは違った喜びがあります。また、今でも完璧なレフェリングはできませんが試合に負けた選手、監督などからナイスジャッチと握手を求められたとき一生懸命やって良かったと辞められないのかも?



- ① : 高野 祐介(たかの ゆうすけ)
 ② : 17年になります。
 ③ : 中学生の時に部活動の顧問から練習試合の副審(当時はラインズマン)をしてくれと言われ、やってみたところ「選手をやるよりも審判やる方が筋が良いんじゃないか?」と言われ高校では本格的に審判活動をやる事になったのがきっかけです。
 ④ : 大学生の時に3級を取得し、県内の社会人1部リーグ等を割当頂きました。当時はどのようなリーグ戦か想像もつかない中飛込み、高校生まで経験してきた練習試合とは本気度が違うのを痛感し、また判定に対してよく選手に囲まれたのが印象に残っております。
 ⑤ : 第一はサッカーに審判という目線から携われる事です。シニア・社会人から学生世代まで試合毎にスピードや戦術が変わっていきます。その中で審判をやりながらサッカーの醍醐味に触れられるのがとても良いです。また、それぞれの試合で都度顔ぶれが異なる審判チームで、協力・助け合い試合が成立した時の喜びは大いなる魅力の一つです。



- ① : 往古 薫(おおこ かおる)
- ② : 4級を所得してから多分ですけど14年くらいです。
- ③ : 息子が2人いまして、地元松戸のカンガルーFCに入団して長男が小学校2年生の時にお手伝いという形でボランティアコーチになりまして、その後、帯同審判員になる為に4級を所得いたしました。
- ④ : かなり前の事で、まだ4級になって間もない頃、全日本少年サッカー大会県予選か県大会での事ですが、3級審判員も見た事無い時に2級審判員の方が主審をされていて、しかも自分より若いので競技規則自体ペラペラとしか見ていなかった自分には、そのレフェリーがこの試合に対する取り組みや、そのスタンスにとっても感銘を受けました。その日から上級を目指す為にはどの様にするのかを真剣に考えるようになった日になりました。
- ⑤ : やはり選手達のダイナミックなプレーやシュートとゴール、あとキーパーのスーパーセーブなどを間近で見ることが出来るのが、とても素晴らしいです。あと色々な方との知り合いになれるというのが審判活動を続ける理由です。



- ① : 小川 和則(おがわ かずのり)
- ② : 「実働」約8年(あくまでも、県の派遣審判になってからです)。
- ③ : たまたま2005年に佐倉市で受けた更新講習の際、県の役員(吉野さん)に声をかけられたことがきっかけです。「こんな自分でも、必要としてくれる人がいるのなら・・・。」でも、実際に県の派遣審判として活動するようになったのは、もう少し先の2012年からです。
- ④ : たくさんの試合の割当てを頂きました。その一試合一試合の積み重ねの結果が今の私であり、自身の人間形成に大いに役立っていると言えます。本当に関係者のみなさんに感謝しています。
- ⑤ : 審判活動をしていなかったら・・・、
 1. 一生入らなかったであろう県内の様々な場所(例、高校や大学、会社や自治体所有のフィールド)に行くことができること。
 2. 一生走ることができなかつたであろう場所(例、高校や大学、会社や自治体所有のフィールド)を選手と一緒に堂々と「走り回る」ことができること。



- ① : 都間 雅彦(つま まさひこ)
- ② : 1986年に始めました。
- ③ : 所属していた大学チームの帯同審判として資格取得しました。
- ④ : 公式戦で初めて笛を吹いた時のドキドキ感。
自分が副審として家族と審判チームを組んだこと。(試合が無事? 終わり安堵!)
キックオフの後、イエロー・レッドカードを持ち忘れたことに気が付焦ったこと。
- ⑤ : 転居・転勤先の地域で活動する審判の方々と交流し、地域に溶け込む機会を得られること。試合環境から日常とは異なる刺激を受け、リフレッシュできることですかね。



- ① : 新田 孝之(にった たかゆき)
- ② : 約15年。
- ③ : 子供が所属しているクラブチームのお手伝いからです。
- ④ : 3級のなりたての頃、御殿場にて静〇〇園戦での試合でゲームを壊したこと。全く選手をコントロールできず無法地帯でした。
- ⑤ : 年齢やサッカーのスキルの隔てなく人間関係ができることです。



- ① : 高橋 謙治(たかはし けんじ)
- ② : 13年目に突入しました。
- ③ : 息子が地元のサッカーチームに入り、そこで是非取って欲しい！と言われたのがきっかけです。今では、そのお誘いに感謝しています。
- ④ : ダノナズワールドカップという大会に参加させてもらった事。たくさんの国々の人たちと、交流出来た事が印象に残っています。
- ⑤ : ・アドバンテージをかけたプレーが、ゴールに繋がった時の快感
 ・審判チームでコミュニケーションが取れ、うまく試合運営が出来た時の感動
 ・試合後、選手に『ナイスレフェリー！』と言ってもらえた時の喜びなどたくさんありますが、一番は、
 ・100点満点が取れない事
 でしょうか。やればやる程、その難しさを痛感しています。常に課題が出来て、その対処と反省の繰り返しです。【もっと、うまくなりたい！】その気持ち、今も審判活動を続けている最大の理由です。



- ① : 中山 雅之(なかやま まさゆき)
- ② : 7年です。
- ③ : 少年サッカーがきっかけです。子供が地元のHAMANOJFCに入団し、試合の応援をしていたところでコーチから『審判を手伝っていませんか？』と声をかけられてからになります。今思えば、声をかけられていなかったらサッカーに関わる事は無かったですね。
- ④ : 4種のみでしか経験が無い中で、3級になり、初めての研修に参加した時です。基本的な研修でしたが、恥ずかしながら当時は初めて知ることや、話している内容のレベルが高くて、住む世界が違うとまで思いました。そして、これをきっかけに自分の中で審判を続けることへの意識や取り組み方が大きく変わりました。
- ⑤ : サッカーの審判員は選手、指導者、観客からのプレッシャーもあり、日常生活では味わえない緊張感を持つことが出来ます。よって、週末は審判に集中するため完全に仕事のオフをとることが出来ることです。それと、試合やトレーニング、研修などで、多くの方々と交流が図れることもやめられない魅力になります。



- ① : 牧野 耕三(まきの こうぞう)
- ② : 1999年7月15日、4級審判資格取得。2001年10月1日、3級審判資格取得。2007年12月10日、2級審判資格取得。(審判歴は、19年10ヶ月です。)
- ③ : 長男が少年サッカーを始めた小学4年生のとき、もともと私自身、サッカーが大好きで眠っていた思いが目を覚まし、少年サッカーチームのお手伝いから審判員となりました。以後、審判技術の向上を目指し、上級審判資格を取得しました。
- ④ : 2級審判資格を取得して、県社会人1部リーグの主審を初めて担当させて頂いたことが、今でも鮮明に記憶に残っています。2008年6月1日、あけぼの山農業公園グランド。私はとても緊張して試合に臨みました。90分の試合の流れとスピードの速さに圧倒されながらも無事に試合を終えることができましたが、試合中に出した2枚の警告について、判定は適正であったかを思い返す数日が続いたことを覚えています。
- ⑤ : 縦105m、横68mのピッチの中で22名の選手が一生懸命に戦い、時に涙し、時に笑い、この瞬間に同じ場所に入れる感動と、試合終了後に選手から『ナイス・ジャッジだったよ』と声を掛けられたときが最高の気分です。またピッチ外では、審判団はもとより、様々なサッカー関係者から、普段の自身では経験できない刺激を頂き、人として更に成長させて頂いています。これらの環境と魅力を大切に、これからも全力で審判活動に取り組んでゆきたいと思っています。

